

2019  
12・16 月4回  
月曜日発行  
第1130号

# 週刊ビル経営

発行所 (株)ビル経営研究所  
〒104-0061  
東京都中央区銀座7-17-12 2F  
TEL 03(3543)7421  
FAX 03(3543)5839  
発行人 垂澤清三  
年間購読料 30,000円(税込)  
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS  
亀岡大邸取材班グループ

## ソーコに学ぶ ビル経営



イーソーコ総合研究所  
代表取締役 出村 亜希子  
奈良女子大学大学院修了後CM  
会社を経て現職。一級建築士、  
宅建士。「倉庫ドクター」とし  
て建築面からオーナー支援に取  
り組む。

を果たす燃、準不燃木材も複数  
森林を保有してきており、内装制  
全してい限を受けない範囲にと  
くためにどまらず内装設計の幅  
も、再びが広がってきていま  
植林し森す。みなさんも、フロ  
林を育成ーリンクや木製のパー  
していかーション、ルーバー  
なくてはや壁材などを取り入れ  
なりませたオフィスを一度くら  
ん。いはご覧になったこと  
安価ながあるのではないでし  
北米や東ようか。そしてきつと、  
南アジアイルカーベットの床  
ア、ヨーにクロス貼りの壁とい  
った従来スタイルのオ  
フィスにはない、落ち  
着きや安らぎを感じら  
れたはずです。昨今、  
オフィスにおける生産  
性向上が盛んにいわれ  
ていますが、オフィス  
内には安らぎ空間を設え  
ることで集中力向上や  
リフレッシュ効果が上  
がり、業務効率が改善  
されるとい研究結果  
もあるよつです。  
木質系の素材にも、  
無垢材、集成材、突き  
板シートなどさまざま  
な種類があり、意匠・  
納まり・コスト・メン  
テナンスなどを踏まえ  
て総合的に判断するこ  
とになりますので、一  
概にこれが良いという  
ものではありません  
が、できるものから木  
に替える「ウッド・チ  
ェンジ」を合言葉に、  
高まる木造化、木質化  
の機運に乗じて、木材  
の魅力を今一度見直  
し、使い方を模索して  
みたいと思います。  
倉庫リノベーション  
を通じて、内装木質化  
の顧客開発に貢献でき  
ればと考えています。

## 第20回「内装の木質化に注目」

非住宅のオフィスや  
スタジオへ転換する倉  
庫リノベーションにお  
いても、内装に木材を  
用いることが増えてい  
ます。木材は手  
触りが良く、見  
た目に暖かみが  
あります。また  
調湿性能もあっ  
て人にやさしい  
ため、室内環境  
を良くするのに  
魅力的な素材と  
いえるでしょ  
う。設計者も意  
匠的に工夫し、  
倉庫リノベーシ  
ョンのインタス  
トリアルな空間  
にさまざまな形  
で内装に木材を  
取り入れるよう  
になってきまし  
た。

森林の持続的  
なサイクルをつ  
くるとい観点  
からも、木材の  
活用が推進され  
ています。戦後植林さ  
れた日本の木は今が切  
り時、使い時だとい  
うことです。環境面や防  
災面などで重要な役割

省の認定を取得した不  
部分もありました。  
しかし近年では技術  
開発が進み、国土交通  
省の認定を取得した不